

建設現場の朝礼を見学



↑ 掲示板を使って危険箇所の説明を受けています。

→ 社員さん達にまぎって朝礼を受けています。



現場での「安全」を守る活動のひとつに『朝礼』があります。現場作業に入る前の打合せ、作業の確認等をする時間ですが、現場によってはしっかりと時間を取り行うことができていないのが現状です。それを改善するために、大阪技術部では建設工事現場へ行き、朝礼を見学、参加してまいりました。参加した安全衛生向上委員会、委員の福地さんに感想を伺いました。

普段見る事ができない建設現場の朝礼は、私たちが行う朝礼とは内容的には似ていますが、人数や朝礼を行うスペース、朝礼にかかる時間など規模がとても大きなものでした。ラジオ体操からはじまり、掲示板による危険箇所の説明、使用する工具の作業前点検、各会社それぞれの点呼、それにおける作業人員の把握、作業工程の説明などを30分以上かけて行っていました。参加する各業者さんとの関係も、大きな声で挨拶し、朝礼にも前向きな姿勢でした。それぞれの職長の下、統制のとれた良い雰囲気なのが、その場にいるだけで感じとれます。業種は違えど、真似をするべき所がたくさんあり、多くのことを学ばせていただきました。朝礼をしっかりと行うには、現場作業に入る前の時間、場所の確保が必要になります。今後の現場に活かしていこうと思います。(大阪技術部 福地)



AED

(自動体外式除細動器)
講習会 @ 東大阪

毎年行っている AED 講習会。大阪では 5 回目の実施でした。緊急時に咄嗟の判断、行動をとれるように繰り返し講習を受ける事で身につけていきましょう! まだ、受講したことのない方は是非とも次回ご参加ください!



昨年、一昨年に引き続き今年も AED 講習会に参加させて頂きました。過去に講習を受けていても、やはりいろんな点で忘れていたことがあり今回も乳幼児の人命救助の方法やノドに物を詰めた時の対処法などを改めて再確認する良い機会になりました。ただこういった講習を何度を受けていても、いざ実際に目の前で人が倒れている時に落ち着いて講習のことを 100% 思い出し遂行できるかは不安です。だからこそ定期的にも人命救助の手順や AED の使い方を思い出し、いざという時に「自分は知っている」という余裕を持てるようにしたいと思いました。(大阪技術部 藤井)



今回も東大阪消防局 警察部予防広報課 地域防災啓発チームのお二人にお越しいただきました! いつも、丁寧な講習で、優しく教えてくださいました。ありがとうございました。



??非常口マークはなぜ緑色??



正式には「避難口誘導灯」と言い、火災や地震などの緊急時に、安全に避難できる場所や屋外に出る扉の上部に設けられています。炎や煙で視界が悪くなったときや、停電で建物が真っ暗になった時の心強い味方。注目される機会は少ないけれど、私たちの命を守る大切な存在です。このマークがどうして緑色をしているのか、ご存知でしょうか??色相環において、赤色の補色は緑色です。補色の関係は、互いを引き立て合う相乗効果があるため炎の中でも緑は見やすいのです。

非常口のマークには、緑地と白地ベースの 2 種類があり、それぞれ役割が異なっているのです。白地マークの正式名は「通路誘導灯」。緑地の「避難口誘導灯」がそこに避難口があることを知らせるものであるのに対して、「通路誘導灯」は避難口までの経路を示すためのものです。そのため、矢印が緑色で強調されています。また、白地の『通路誘導灯』は、停電時などに照明としても力を発揮します。

1987年に『IOS(国際標準化機構)』に採用されたことで、日本の非常口マークは世界標準デザインになりました。つまり、走る人のポーズは、日本が世界に誇るユニバーサルデザインなのです。